



Department of Architecture

建築学科

人間や自然環境に配慮し、文化的・芸術的な視点から建築や都市のデザインやマネジメントについて学ぶ



建築学科 学科長 関 崇夫 教授

建築学科は、建築計画・意匠、建築構造・材料と建築環境・設備の3分野から構成されています。本学科では、社会福祉や自然環境への配慮に加え、安全、健康、安らぎ、豊かさなど、文化的・芸術的な視点から建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の育成を目指しています。建築計画・意匠分野では、建築や都市の企画・設計・監理を行う能力を養います。建築構造・材料分野では、建築の構造理論を理解し、建物の構造の施工や施設、その設計・管理ができる能力を養います。そして、建築環境・設備分野では、建築内部の熱・音・空気・光などの環境評価や建築設備の仕組みを踏まえ、地域環境を尊重した機能的な建物の計画・設計ができる能力を養います。

ADMISSION POLICY

建築学科では、社会福祉や自然環境への配慮に加え、安全、健康、安らぎ、豊かさ等、文化的・芸術的な視点から建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の育成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

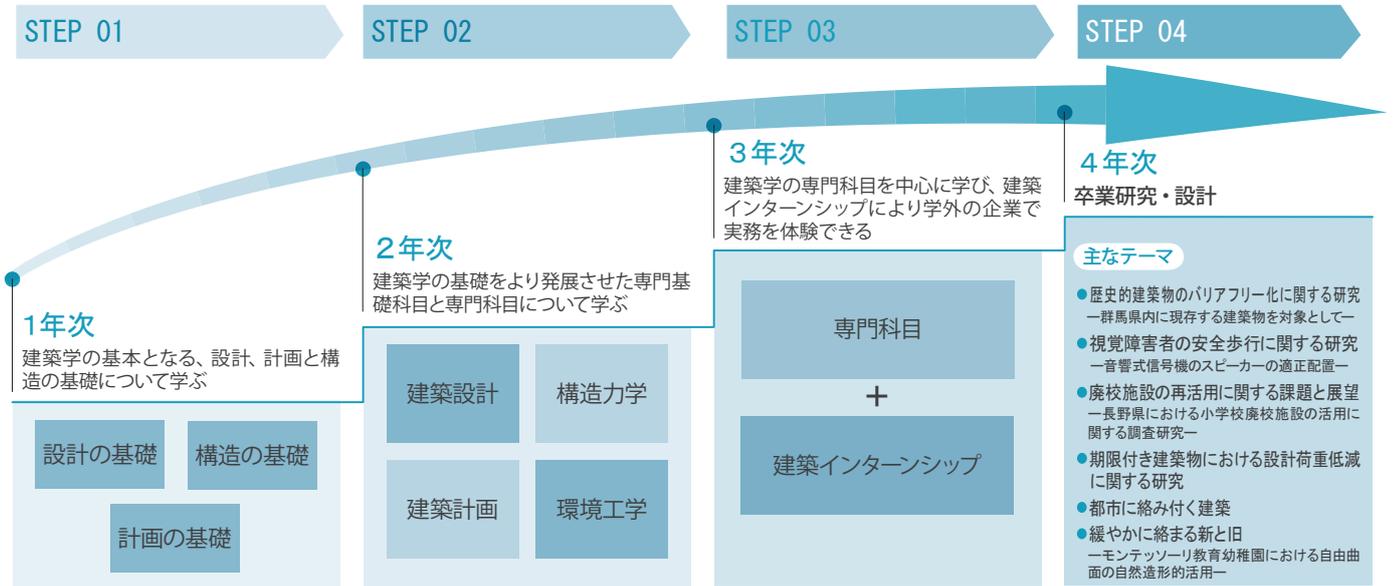
01 科学、社会、技術、芸術等の広い分野に関心を持っている

02 建築や都市の企画、設計、施工、管理、マネジメント等に関わる業務に従事したいと考えている

03 広い視野と発想力、洞察力、問題発見能力、集中力、持続力、コミュニケーション能力を持っている

CURRICULUM

建築学科で掲げた教育理念・目的・目標を達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施しています。



3年間でできるようになること

01 一般教養と建築学の基礎を学ぶ

高校で学んだ数学や物理などの一般教養の他、建築学の基本となる設計、計画、構造の基礎を学びます。建築設計基礎の講義では、実際の建築物の図面を写すことで多くのことを学びました。覚えるのは大変でしたが、充実した毎日を送っていました。

02 設計が本格化し、専門科目が増える

建築設計の講義では、課題に対して自分の提案を図面と模型で表現します。提案を形にすることは難しかったですが、先生の助言や、友達と励ましあうことで毎回思い思いの作品をつくることができました。

03 建築インターンシップにより学外の企業で実務を体験できる

夏休みなどの長期休みは、インターンシップへ行きます。実際に企業で実務を体験し、雰囲気味わうことで就職活動に活かすことができます。また、それぞれの研究室が決定し、自分の興味のある分野について追究していくことができます。

建築学科 4年
木村 桃子さん
新潟県立柏崎理洋中等高等学校出身

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	必修 建築設計基礎 I 建築構造 建築学概論	建築設計基礎 II 建築構造力学 I 建築計画 I	建築構造力学 II 建築計画 II 建築設計 I インテリア I 建築史 I 建築環境工学 I	鉄筋コンクリート構造 I 鋼構造 I 建築設計 II 建築環境工学 II	都市環境計画 I			
専門教育科目	必修 建築材料			木質構造	建築法規 建築設計 III 建築設備 I	建築施工	卒業研究	
専門科目	選択必修	建築デザイン実習 建築生物学 I	建築造形論 建築生物学 II 建築情報処理 建築設計ワークショップ	建築構造力学 III 建築計画 III インテリア II 建築史 II 建築生産 建築構造計画	聴覚・音響学 鋼構造 II 建築構造力学 IV 建築史 III 建築インターンシップ 鉄筋コンクリート構造 II 空気環境学 建築構造実験 耐震工学	建築設計 IV 都市環境計画 II 地盤・建築基礎構造 計画・環境実験 建築構造力学 V 鋼構造設計 建築マネジメント 建築設備 II	鉄筋コンクリート構造設計 建築計画特論	建築構造特論